

#その発信が世界を変える

東京をつなげよう

教育政策室

家庭・学校・地域の好循環の実現へ



公益社団法人 東京青年会議所
教育政策室 担当: 外口 真大 TEL : 090-6009-4343

未来の事は誰にも分からない。しかし未来が誰に委ねられているのかは分かる。



To provide development opportunities
that empower children to create positive change

ニュートンのリンゴ プロジェクト

2045年、AIは人を超えると言われています。そして仮想空間と現実空間が高度にリンクするSociety5.0。
圧倒的な速度で技術革新が起こり、まだまだ先と感じていた未来がすぐ近くまでやってきています。
そんな予測不能な時代を生きなければいけない子ども達に我々は何をしてあげられるのでしょうか？

ニュートンは木からリンゴが落ちるのを見て「万有引力の法則」を見つけたと言われています。
リンゴが落ちるというキッカケから、ニュートンは偉大な法則を見つけたのです。

それなら我々がすべきことは子ども達の前にリンゴを落とすこと。
考える機会・発想する機会を出来るだけ多く提供する必要があります。
きっと子ども達はそのリンゴの中から新たな力を発揮してくれるはず。

しかし現在の社会状況の中で子ども達にリンゴを落としてあげられているでしょうか？
とある学校の校長は「今の子ども達は学校と家庭という小さな世界で生きている。」と話していました。

小さな世界では多くのリンゴを落としてあげる事は出来ません。
それなら子ども達にもっと広い世界を見せてあげたい。
君の可能性は無限なのだと示してあげたい。

そんな想いからニュートンのリンゴプロジェクトは始まりました。

社会実験としてのニュートンのリンゴ プロジェクト

仮説

前述の社会背景より、非認知能力が予測不能な時代を生き抜く為に必要な能力であり、また注目されている能力であることが分かりました。しかし多くの先行研究から現在の学校教育だけでは、非認知能力を伸ばすのに不十分であると言われています。教育は学校だけ、または家庭だけで行うものではなく教育は公共財であると考え、社会や地域の参画が重要となります。しかし核家族化の進展や三世帯世帯の割合の減少、ひとり親世帯の増加、地域社会との関係の希薄化というように社会状況が変化してきています。その為、最初に子育て世代に非認知能力の重要性・地域と連携して行う教育の重要性を理解してもらう必要があるのではないのでしょうか。



目的

地域と連携する幼少期教育を子育て世代から広め、
家庭・学校・地域の好循環を創りだすこと

検証方法

現在ある多くの先行研究から非認知能力の重要性・地域連携の重要性を子育て世代に伝える動画を作成する。その動画を都内の保育園・幼稚園・小学校の保護者会等で放映し、アンケートを回収する。そこから非認知能力の認知度や理解度を図る。また現在の子育て世代がどのように地域に関わりを持っているのかを調べ、連携の更なる効率化を図る方法を探る。

検証結果

2月1日～7月31日までの間に都内の保育園・幼稚園・小学校計15ヶ所にてニュートンのリンゴ プロジェクトを開催しました。その結果、533名の子育て世代からアンケートを回収する事が出来ました。当日は主旨説明を行い動画放映をさせて頂きました。また動画を何度も見れるようにYoutubeへのQRコードを記載したマグネット、地域との連携をすぐに図れるように子育て支援を行っているNPOの記載したガイドブックを配布いたしました。



ニュートンのリンゴプロジェクト開催実績				
	開催日	開催地区	開催場所	人数
1	3月13日	墨田区	緑小学校	19
2	4月12日	足立区	栗島幼稚園	66
3	4月22日	練馬区	南光幼稚園	32
4	5月25日	足立区	レイモンド花畑保育園	27
5	6月16日	墨田区	杉の子学園保育所	25
6	6月23日	墨田区	杉の子学園保育所	33
7	6月25日	千代田区	お茶の水小学校	114
8	6月26日	練馬区	寿福寺幼稚園	43
9	7月5日	墨田区	墨田幼稚園	87
10	7月7日	墨田区	杉の子学園保育所	17
11	7月17日	墨田区	墨田幼稚園 PTA	19
12	7月17日	足立区	栗島幼稚園 PTA	14
13	7月17日	練馬区	南光幼稚園 PTA	12
14	7月17日	練馬区	寿福寺幼稚園 PTA	12
15	7月23日	Facebook	Facebook	13
合計				533